

富山大学学報

(題字 瀧澤 弘 学長)

第449号
(平成14年 5 月号)

5月のトピックス

◇ 9日 富山大学名誉教授称号記授与式



◇ 11日～12日 平成14年度外国人留学生 (学部新入生) 合宿研修



△世界遺産五箇山合掌造りの前での記念撮影

目 次

関係法令	3
学内規則	
◆ 富山大学法人化準備委員会要項の制定	3
諸会議	4
学 事	
◆ 再編・統合⑧～⑩	5
◆ 国立14大学理学部長会議・事務長会議	9
◆ 学位取得者	10
人事異動	11
学内諸報	
◆ 教育学部附属幼稚園教諭が現代風鬼ごっこを考案	12
◆ 富山大学名誉教授称号記授与式	12
◆ 富山大学初任者職員研修	13
◆ 平成14年度外国人留学生（学部新入生）合宿研修	13
◆ 国際交流会館入居者との懇談会	14
◆ 平成14年度教育学部附属小学校教育研究発表会	14
◆ 地域共同研究センター交流振興会総会	15
◆ 平成14年度富山大学永年勤続者表彰式	15
◆ 海外渡航者	16
主要行事	17
お知らせ	
◆ 懲戒処分指針における交通事故・交通法規違反関係の標準例の改正	19
◆ 理学部事務室の移転	20
訂 正	21

関 係 法 令

(法 律)

- 教育職員免許法の一部を改正する法律 (55) (平成14. 5. 31官報第3372号)

(規 則)

- 2002年ワールドカップサッカー大会の運営の業務に従事する職員の職務に専念する義務の免除 (人事院14-22) (平成14. 5. 7官報第3354号)

(省 令)

- 大学入学資格検定期程の一部を改正する省令 (文部科学29) (平成14. 5. 7官報号外第92号)
- 義務教育諸学校施設費国庫負担法施行規則等の一部を改正する省令 (同30) (平成14. 5. 13官報号外第96号)
- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令 (財務35) (平成14. 5. 24官報第3367号)

(告 示)

- 学校の教育課程に開設している無線通信に関する科目を確認した件 (総務274) (平成14. 5. 2官報第3353号)
- 短期大学の位置を変更する件 (文部科学83) (同)
- 短期大学の名称を変更する件 (同84) (同)
- 大学入学資格検定期程第5条の3の規定に基づき、選

択科目についての資格検定を免除することができる学修を定める件 (同85) (平成14. 5. 7官報号外第92号)

- 大学入学資格検定期程第5条の5の規定に基づき、知識及び技能に関する審査を定める件 (同86) (同)
- 平成14年度小学校教員資格認定試験を実施する件 (同87) (平成14. 5. 17官報第3362号)
- 平成14年度高等学校教員資格認定試験を実施する件 (同88) (同)
- 平成14年度特殊教育教員資格認定試験を実施する件 (同89) (同)
- 平成14年度における学芸員の資格認定を実施する件 (同103) (平成14. 5. 23官報号外第105号)
- 平成14年度学校図書館司書教諭講習実施要項を定める件 (同104) (同)
- 高等学校学習指導要領の一部を改正する件 (同105) (平成14. 5. 24官報第3367号)
- 教科用図書の検定に関する件 (同106) (平成 14. 5. 28官報第3369号)

(官庁報告)

- 短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に関する公示 (大学評価・学位授与機構) (平成14. 5. 14官報第3359号)

学 内 規 則

富山大学法人化準備委員会要項の制定

富山大学法人化準備委員会要項の制定理由

富山大学の法人移行の準備のために委員会を設置することに伴い、所要事項を定める。

富山大学法人化準備委員会要項を次のとおり制定する。

平成14年 5 月17日

富山大学長

瀧 澤

弘

富山大学法人化準備委員会要項

(設 置)

第1条 富山大学に、円滑な法人移行の準備のため、富山大学法人化準備委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 副学長のうち学長が指名した者
- (2) 学部長
- (3) 学内共同教育研究施設、保健管理センター及び学内共同利用施設の長のうち 1人
- (4) 作業部会長
- (5) 事務局長
- (6) その他学長が必要と認めた者

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、副学長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

(議 事)

第4条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会できない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第5条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(作業部会)

第6条 委員会に、次に掲げる作業部会を置く。

- (1) 組織業務等作業部会
- (2) 人事労務等作業部会
- (3) 目標評価等作業部会
- (4) 財務会計等作業部会

2 作業部会は、「新しい『国立大学法人』像について」（最終報告）に基づき、委員会から付託された個別の課題について制度設計を行う。

3 作業部会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 評議員 若干人
- (2) 作業部会が必要と認めた者
- (3) 事務職員 若干人

4 作業部会に部会長を置き、部会長は学長が指名する。

(庶 務)

第7条 委員会の庶務は、総務部企画室において処理する。

(雑 則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

- 1 この要項は、平成14年5月17日から実施する。
- 2 委員会は、任務を終了した時点で解散する。



組織運営体制の整備に関する検討委員会（5月2日）

(審議事項)

- (1) 教員定員の運用について
- (2) 新しい評価体制について

(2)新しい評価体制について

情報委員会（5月16日）

(審議事項)

- (1) 情報基盤センターの概算要求について

再編・統合検討委員会（5月9日）

(審議事項)

- (1) 新大学構想協議会について
- (2) 新大学構想策定委員会委員について
- (3) 新大学構想について

評議会（5月17日）

(審議事項)

- (1) 教員定員の運用について
- (2) 法人化への準備について

組織運営体制の整備に関する検討委員会（5月16日）

(審議事項)

- (1) 教員定員の運用について

再編・統合検討委員会（5月17日）

(審議事項)

- (1) 第3回新大学構想協議会について

附属図書館運営委員会（5月17日）

（審議事項）

- (1) 平成14年度事業計画（案）について
- (2) 大型コレクションの選定について

学生生活委員会（5月21日）

（審議事項）

- (1) 学寮の改修等に係る基本方針について
- (2) 学生団体からの公開質問状について

教養教育運営協議会（5月29日）

（審議事項）

- (1) 大学評価・学位授与機構による大学評価について
- (2) 平成14年度非常勤講師任用計画の一部変更について
- (3) 授業公開について

就職委員会（5月29日）

（審議事項）

- (1) 平成14年度全学就職支援事業実施計画（案）につい

て

- (2) 企業向け大学紹介の作成について
- (3) 富山大学の中期目標・中期計画に沿った計画等について
- (4) 学内における「業界・企業研究会」について

国際交流委員会（5月30日）

（審議事項）

- (1) 中華人民共和国上海大学との大学間学術交流協定について
- (2) 遼寧大学との「教官及び研究者の学術交流に関する実施細目」について
- (3) 留学生住宅総合補償（財団法人内外学生センター）加入に伴う協力金及び日本留学フェア参加に伴う旅費について

組織運営体制の整備に関する検討委員会（5月31日）

（審議事項）

- (1) 新しい評価体制について

**再 編 ・ 統 合 ⑧～⑩**

本学学内広報紙「富大速報」第10～12号に標記の記事が次のとおり掲載されました。

○富大速報第10号 『再編・統合⑧』

第1回新大学構想協議会報告

○平成14年4月22日（月）に第1回新大学構想協議会が高岡短期大学において開催されました。

この協議会の議事概要は、以下のとおりです。

〔議 事〕

1. 議長の選出について

議事に先立ち、蠟山学長からあいさつがあり、次いで、富山県内国立大学第8回合同懇談会議事要旨に基づき、本協議会の名称について「(仮称)」を外し「新大学構想協議会」とすること及び協議会の構成員について提案があり、これを了承した。引き続き、本日の議長は、当番大学の水島副学長としたい旨提案があり、これを了承した。

2. 協議会の運営方法等について

議長から、今後の協議会の運営方法等について提案があり、協議の結果、会場については富山大学及び富山医科薬科大学で交互に開催することとし、次回は五十音順により富山医科薬科大学で開催することとした。

また、議長については、協議の結果、「各大学1名の副学長からなる議長団」を組織し、議事案件の調整及び議長の選出を行うこととした。

3. 新大学の構想（案）について

議長から、各大学で検討された新大学の構想（案）について説明願いたい旨依頼があり、富山医科薬科大学、富山大学、高岡短期大学から、それぞれ概要について説明があり、質疑応答及び意見交換を行った。

なお、次回さらに検討を行うこととした。

4. 協議会の権限及び今後の進め方について

協議会の構成について改めて確認が行われ、当面は、学長3、副学長5、学部長・研究所長（高岡短期大学は学部長相当者1）、事務局長・事務部長で構成することとし、オブザーバーについては、学長が必要と認める者は、協議会の了承が得られたものとして取り扱うこととした。

なお、協議会の権限については、次回以降検討することとした。

次いで、次回開催日について調整を行った結果、次のとおり開催することとした。

日 時 4月30日（火）13時～16時

場 所 富山医科薬科大学

5. 広報のあり方について

議長から、富山県内国立大学第8回合同懇談会において検討された広報の在り方等について、3大学が共通の情報を持ち、学内外に向けて積極的に広報を行う必要性から、協議会に3大学から推薦のあった教員・事務官各1名による「広報委員会（仮称）」を組織してはどうかとの提案があり、協議の結果、次回検討することとした。

次いで、議長から、富山県への対応の在り方等について提案があり、協議の結果、県のオブザーバー出席は遠慮願うこととし、本日の議事内容は、協議会終了後、当番校から説明することとした。

6. その他

1) 記者会見について

本日の記者会見は、議長に一任することとした。

また、報道機関への配布資料について、確認が行われた。

2) 国立大学の改革等に関する懇談会小委員会への出席者について

県が4月25日開催する「国立大学の改革等に関する懇談会小委員会」に、3大学から小林副学長、瀧澤学長、蟬山学長が出席することの報告があった。

以 上

○富大速報第11号 『再編・統合⑨』

第2回新大学構想協議会報告

○平成14年4月30日（火）に第2回新大学構想協議会が富山医科薬科大学において開催されました。
この協議会の議事概要は、以下のとおりです。

〔議 事〕

1 議長について

議事に先立ち、高久学長からあいさつがあった後、本日の議長が決定するまで会場大学の学長である高久学長が司会を務めることとなった。

(1) 議長団について

前回協議会です承された議長団の構成員としては、高岡短大；水島副学長，富山大学；風巻副学長，富山医薬大；小林副学長とすることを確認した。

(2) 第2回協議会の議長について

本日の議長は、小林副学長とすることが了承された。

(3) 議長（議長団）の座席配置について

今後、議長席あるいは議長団席というものは特に設けず、それぞれの大学席から行うこととした。また、嶺山学長から、本協議会の議長については特段の場合を除き、会場大学の議長団構成員が務めるべき旨の提案があり、了承された。

高久学長から小林副学長に司会を交代した。

2 議事要録の確認について

第1回協議会（4月22日開催）議事要録が確認された。

3 協議会の構成員について

(1) 構成員について

本協議会の構成員は、学長3名，副学長5名，学部長等（高岡短大1名，富山大5名，富山医薬大3名）9名及び事務局長・事務部長3名の20名であることを再確認した。

(2) オブザーバーについて

オブザーバーについては、当該大学長の判断による出席とし、議決権は持たないことを再確認した。

4 新大学構想について

(1) 3大学の新大学構想について

新大学の理念，学部編成，教員養成系学部，大学院，地域，就職等の outcome，教養教育，財政状況を含めた管理運営，準学士制度等について，フリートーキング形式で種々意見交換が行われた。

(2) 今後の検討の進め方について

構想策定委員会の構成員は、学長，副学長1名，教官1名及び事務局長（事務部長）の12名とすることが確認された。なお，副学長1名及び教官1名については，当該大学長の判断によるものとした。

(3) 分科会について

分科会の設置については，全体像がある程度まとまった時点で，改めて検討することとした。

5 その他

(1) 広報のあり方について

マスコミ対応については，会場大学が責任をもって行い，記者会見を行う際には必要に応じ3大学長が

出席することとした。また、文部科学省への対応については、それぞれの大学が責任をもって行うこととし、個別に各大学に問い合わせがあった場合には、個々に対応することを確認した。

(2) 次回協議会の開催予定について

次回開催場所は富山大学となっており、日時等の詳細については事務局で調整することとした。

以 上

(注) 再編・統合に関する情報を提供するために、富山大学ホームページ「学内向け情報」に（再編・統合情報）の項目を設置しました。富大速報はここからもご覧になれます。

○富大速報第11号 『再編・統合⑩』

第3回新大学構想協議会報告

○ 平成14年5月14日（火）に第3回新大学構想協議会が本学において開催されました。

この協議会の議事概要は以下のとおりです。

〔議 事〕

1. 議長について

瀧澤学長から、本協議会の議長を風巻副学長としたい旨述べられ、了承した。

また、次回以降の協議会の議長は、会場大学と同じく富山医科薬科大学（小林副学長）と富山大学（風巻副学長）が交互に務めることを確認した。



2. 議事要録の確認

第2回協議会（4月30日開催）の議事要録が確認された。

また、議事要録の形式は、今回確認された議事要録の形式とすることを確認した。

3. 構想策定委員会委員について

第2回協議会で設置が認められた構想策定委員会について、各学長から次のとおり委員の報告があった。

〔高岡短期大学〕 蛸山学長、水島副学長、秦教授、古屋事務部長

〔富山医科薬科大学〕 高久学長、倉知医学部長、竹口薬学部長、荒木事務局長

〔富山大学〕 瀧澤学長、風巻副学長、塩澤副学長、新屋事務局長

4. 新大学構想について

瀧澤学長から、富山大学が検討した新大学構想案について概要説明があった後、矢澤人文学部長、塚野教育学部長、古田経済学部長、岡部理学部長及び龍山工学部長から、学部構想について資料に基づき説明があった。

種々意見交換が行われ、次回協議会で継続して協議することとした。

5. 構想策定委員会について

構想策定委員会への代理出席は認めないこととし、オブザーバー出席については、構想策定委員会が必要と認めた者とするを了承した。

6. その他

(1) 各大学の教育研究活動状況（各種データ）について

3大学が各大学の教育研究活動のデータを共有する必要があることから、資料を事務的に整理し、各委員に配付することとした。

(2) 報道機関、富山県への対応について

今回の協議会の報道機関及び富山県への対応については、会場大学である富山大学が行うことを確認した。

(3) 次回協議会について

次回協議会は富山医科薬科大学で開催することとなり、開催日時等詳細については事務局で調整することとした。

以 上

国立14大学理学部長会議・事務長会議

平成14年度国立14大学理学部長会議・事務長会議が、本学理学部を当番校として、5月22日（水）～23日（木）の両日、富山市のオックスカナルパークホテル富山で開催されました。

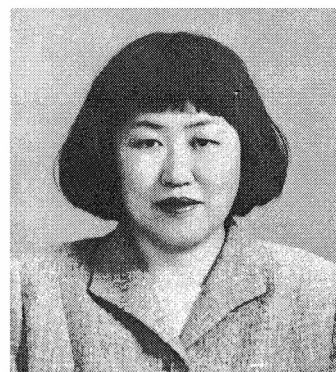
会議の冒頭に文部科学省の吉村 高等教育局専門教育課課長補佐から挨拶があった後、同課長補佐から国立大学を取り巻く状況等について説明があり、活発な質疑応答が行われました。また、「国立大学理学部間の専攻プログラムに関する共通水準の設定について」及び「再編・統合における理学部の将来像について」等の協議議題についての意見交換も行われました。



学位取得者

所属・職・氏名 教育学部 助教授 坂本 麻実子
学位の種類 博士（人文科学）（お茶の水女子大学）
取得年月日 平成14年4月30日
学位論文名 明治中等音楽教員の研究－『田舎教師』とその時代－
論文の要旨

明治中等音楽教員とは、明治日本の中等教育機関である師範学校、中学校、高等女学校に所属し、音楽を担当した教員をいう。本論文は、明治日本における中等音楽教員の養成と供給の実態を検証するとともに、中等音楽教員の職業的価値を考察した。明治日本の音楽教員の使命は、学校を拠点として地域における西洋音楽の教育、啓蒙活動を行うことであった。そして、明治日本では、音楽教員は、西洋音楽の常勤の専門職としては唯一と言ってよいものであった。その音楽教員の養成は、文部省内に設置された音楽取調掛が明治14（1881）年に伝習生を募集したことに始まるが、当初は小学校の唱歌教員の養成が急務であった。音楽取調掛を引き継いで、明治20（1887）年に開校した東京音楽学校の師範部も同様であった。明治33（1900）年になって、東京音楽学校は師範部を改組し、中等学校の音楽教員養成課程の甲種師範科と小学校の唱歌教員養成課程の乙種師範科を新設した。つまり、中等音楽教員の養成は、明治30年代に入ってから始まった。同時に、東京音楽学校は、音楽教員の必修楽器を鍵盤楽器と定め、甲種はオルガンとピアノ、乙種はオルガンのみと差をつけた。明治の音楽教育界では、ピアノは最新の楽器だったので、ピアノが弾ける中等音楽教員は、オルガンを弾くのが精一杯の小学校の唱歌教員よりも給料や待遇の面で優遇された。しかし、ピアノの実技を重視する人材育成は、大量生産には向かなかったため、明治の中等音楽教員は慢性的に不足していた。田山花袋の小説『田舎教師』は、明治36（1903）年に東京音楽学校の受験に失敗し、中学校の音楽教員になりそねた小学校教員の顛末を記述しており、中等音楽教員が最新式の教員として脚光を浴びた明治30年代の音楽教育界の状況を読みとることができる。



人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	14. 5. 1	黒川 光流		講 師 人文学部 (人文学科行動文化)
	"	前川 清人		助 手 理学部 (生物学科生体構造学)
	"	柳瀬かおり		事務補佐員 (人文学部・理学部)
	14. 5. 8	土田 亮子		事務補佐員 (教育学部)
	14. 5. 13	中田 典子		技能補佐員 (研究支援推進員) (機器分析センター)
	14. 5. 20	西谷内優子		技能補佐員 (研究支援推進員) (機器分析センター)
	"	柴田奈々絵		技能補佐員 (総合情報処理センター)
昇 任	14. 5. 1	大西 宏治	助 手 名古屋大学 大学院環境学研究科	助教授 人文学部 (国際文化学科文化環境論)
臨時的任用	14. 5. 7	山田 智子		教諭 (教育学部附属養護学校) (~14. 6. 15)
辞 職	14. 5. 31	馬場 欣哉	講 師 工学部	辞職
併 任	14. 5. 11	大石 昂	教 授 生涯学習教育研究センター	生涯学習教育研究センター長 (~16. 5. 10)
	"	村井 忠邦	教 授 工学部	総合情報処理センター長 (~16. 5. 10)
職務命令	14. 5. 11	神川 康子	教 授 教育学部	生涯学習教育研究センター副センター長 (~16. 5. 10)

学 内 諸 報

教育学部附属幼稚園教諭が現代風鬼ごっこを考案

教育学部附属幼稚園の開 仁志教諭が、現代風にアレンジした新しい鬼ごっこを考案し、「おにごっこするものよっといで」という本にまとめました。

同教諭は、園児らと接するうち、子供たちは絵を描くなど一人でする遊びは上手にするが、友人とのスキンシップを伴う遊びは苦手ではないかと感じ、人を追いかけて、追いかけることで友人の存在を意識する鬼ごっこを、遊びに積極的に取り入れた40パターンの現代風鬼ごっこを考えました。

この鬼ごっこは、同教諭が実際に附属幼稚園で園児達と接しながら改良を重ねたもので、子供が友達と手をつなぐと鬼に捕まえられなくなったり、保育者が鬼になって子供をくすぐったりすることや昔話、ごみのリサイクル等をテーマにしたものが取り入れられています。

開教諭は「鬼ごっこを通じて人と関わることは楽しいということを幼い頃に実感して欲しい。」と話しています。



△ 開 教諭著「おにごっこするものよっといで」

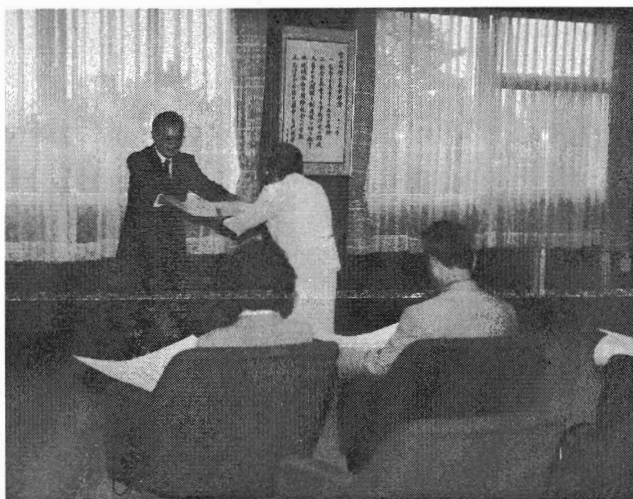
富山大学名誉教授称号記授与式

本年3月末をもって退官された13名の方に本学名誉教授の称号を授与することが決定され、5月9日（木）に瀧澤学長から称号記が授与されました。

新たに名誉教授となられた方は次のとおりです。

- ・梅村智恵子氏（元人文学部教授）
- ・渡邊 洋氏（元人文学部教授）
- ・穴山 彊氏（元教育学部教授）
- ・宗 孝文氏（元教育学部教授）
- ・手塚 昌郷氏（元教育学部教授）
- ・山下 三郎氏（元教育学部教授）
- ・田中 祥子氏（元経済学部教授）
- ・櫻井 醇兒氏（元理学部教授）
- ・井上 正美氏（元工学部教授）
- ・佐治 重興氏（元工学部教授）
- ・杉本 益規氏（元工学部教授）

- ・吉川 和男氏（元工学部教授）
- ・中村 剛氏（元保健管理センター教授）



富山大学初任職員研修

5月10日（金）、事務局小会議室において、平成14年度富山大学初任者職員研修が実施されました。

この研修は、平成13年10月1日以降に採用された行政職（一）の7名の職員に対して、本学の職員として必要な事務処理体制等の基礎的知識について講義形式で行われ、新屋事務局長から大学改革、国立大学の法人化及び事務官の役割等について講話があり、引き続き事務局各課、学部及び附属図書館の事務について各課長等から説明がありました。



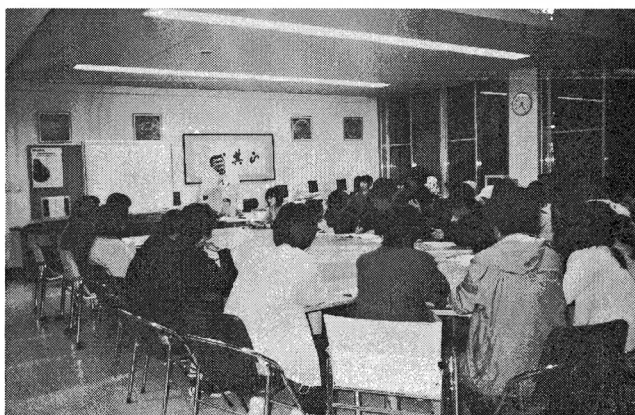
△ 講義を行う沖永 人事課長

平成14年度外国人留学生（学部新入生）合宿研修

平成14年度外国人留学生（学部新入生）合宿研修が、5月11日（土）及び12日（日）の1泊2日の日程で富山県東砺波郡利賀村で実施され、新入学学部留学生、在来留学生、日本人学生（国際交流会館チューター）及び教職員の計44名が参加しました。

この研修は、本年度から実施する留学生関連の新規事業の一つで、本学に新たに入学した外国人留学生（学部生）に学園生活を円滑に送ってもらうため、必要な事項等を合宿形式によるオリエンテーションで理解させるとともに、留学生同士及び教職員等との交流と親睦を図る目的で開催されたものです。

合宿研修では、オリエンテーションのほかに、先進的な科学技術を取り入れた菓子製造会社や世界遺産となっている五箇山の合掌造りの見学もあり、入学間もない留学生にとっては、有意義な研修となったようです。



△オリエンテーション

国際交流会館入居者との懇談会

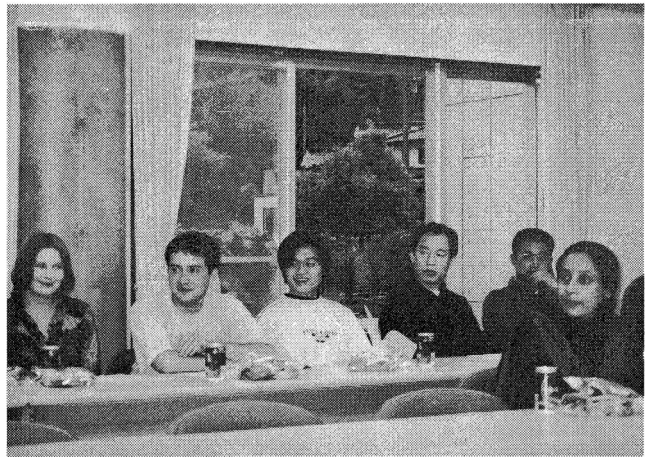
5月20日（月）、国際交流会館入居者との懇談会が国際交流会館多目的室で開催されました。

この懇談会は、大学と会館に入居している留学生・研究者との間で意見交換をすることによって、入居者同士の交流や今後の会館運営の参考にするため、初めて開催されたものです。

開催当日は、一時帰国者等を除く26名の参加があり、本学から留学生センター教官3名及び留学生課の事務官4名の計7名が出席しました。

懇談会では、参加者全員の自己紹介や国際交流会館のチューターに関する説明があった後、同会館への要望等意見交換が行われました。

今までは、入居者相互の交流がなく、挨拶を交わすこともありませんでしたが、今回の懇談会で入居者相互の交流が活発になることが望まれます。



平成14年教育学部附属小学校教育研究発表会

5月22日（水）に教育学部附属小学校において、平成14年教育研究発表会が開催されました。

この研究会では、平成12年から「追究を楽しむ子供が育つ学校の創造」を主題として開催しています。

今年の研究会では、各教科の公開授業が15分単位を1単位として時間割を構成した「モジュール授業」形式で行われ、県内外からの約400人の参加者は授業の進め方や子供の反応などを見つけていました。

また、「今こそ、楽しくて力がつく授業を」をテーマとした意見交換会や岐阜大学教育学部 北 俊夫 教授とのディスカッションも開催され、多数の教育関係者が熱心に聴講していました。



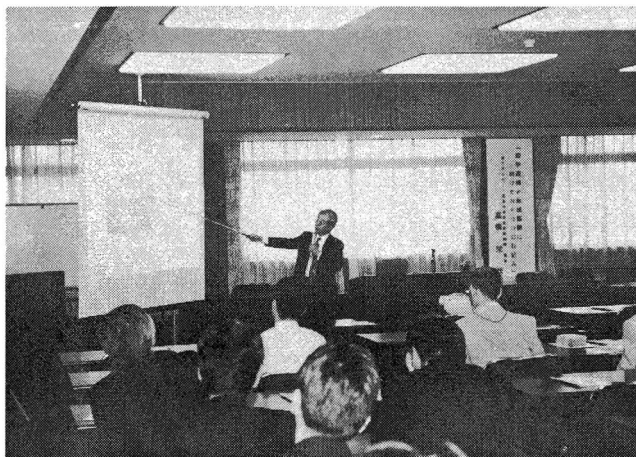
△岐阜大学教育学部 北 俊雄 教授とのディスカッション

地域共同研究センター交流振興会総会

富山大学地域共同研究センター交流振興会の総会が、5月29日（水）に工学部大会議室で開催されました。

この交流振興会は、県内の企業が中心となって、地域共同研究センターの事業支援、事業運営に対する有益な提言を行うことを目的として、平成4年3月に設立されたもので、総会には、会員企業及び地域共同研究センター長、工学部長ら25人が出席し、今年度の事業計画及び予算が決定されました。

引き続き、講演会が開催され、講師に高橋 栄 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO（New Energy and Industrial Technology Development Organization））理事を迎えて「産学連携と地域振興に向けたNEDOの取組み」と題した講演が行われ、NEDOが行っている多岐の事業及びその詳細な内容について説明がありました。またその後、会員企業と活発な質疑応答が行われました。



△講演する高橋 栄 新エネルギー・産業技術総合開発機構理事

平成14年度富山大学永年勤続者表彰式

平成14年度富山大学永年勤続者表彰式が、5月31日（金）に事務局大会議室において行われました。

表彰式では、各部局長をはじめ関係部課長・事務長が列席する中、35年勤続者及び20年勤続者1人1人に瀧澤学長から表彰状と記念品が贈られました。

引き続き、瀧澤学長から被表彰者に対し祝辞があり、これに対し、被表彰者を代表して、教育学部の田中 晋教授から謝辞がありました。

閉式後、記念撮影及び永年勤続者を囲む懇談会が催され、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。

なお、被表彰者は次の方々です。



部 局 名	35 年勤続表彰	20 年勤続表彰
事 務 局	文部科学事務官 吉 澤 誠	文部科学事務官 谷 口 之武男
	文部科学事務官 江 藤 憲 和	文部科学事務官 山 田 勇 一
	文部科学事務官 河 上 孝	文部科学事務官 高 橋 春 男
	文部科学事務官 高 邑 欣 市	文部科学事務官 山 上 康 彦
	文部科学事務官 能 登 功	文部科学事務官 田 村 修 一
附 属 図 書 館		文部科学事務官 脇 坂 勝 人
人 文 学 部		文部科学教官 村 井 文 夫
人文学部・理学部		文部科学事務官 織 田 世 起
教 育 学 部	文部科学教官 田 中 晋	文部科学教官 市 瀬 和 義
		文部科学教官 荻 原 洋
		文部科学教官 本 田 敏 也
		文部科学教官 荒 治 和 幸
		文部科学教官 寺 井 誠
経 済 学 部		文部科学教官 矢 野 勝 也
		文部科学教官 志津田 一 彦
		文部科学教官 新 里 泰 孝
理 学 部	文部科学教官 風 卷 紀 彦	文部科学事務官 竹 内 由 利
工 学 部	文部科学教官 村 井 忠 邦	文部科学教官 高 瀬 均
	文部科学教官 松 木 賢 司	文部科学教官 西 村 克 彦
	文部科学教官 諸 橋 昭 一	文部科学教官 酒 井 充
	文部科学技官 赤 壁 節 子	

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	理学部	助教授	張 勁	アメリカ合衆国	第6回地球表層における地球化学国際シンポジウムに出席・発表	14. 5. 22
						14. 5. 25
海外研修	理学部	助教授	栗 本 猛	アメリカ合衆国	F P C P 国際会議に出席, 研究打合せ	14. 5. 15 14. 5. 20
	経済学部	助教授	古 川 勝	タイ, 連合王国, アイルランド, スイス	経営の情報化, グローバル化及び起業に関する調査及び資料収集	14. 5. 15 14. 6. 24
	教育学部	講 師	稲 垣 応 顕	台 湾	アジア障害理解学会第3回大会に出席, 発表	14. 5. 20 14. 5. 23
	教育学部	助教授	梶 座 圭太郎	韓 国	韓国岩石学会に出席	14. 5. 23 14. 5. 29
	経済学部	教 授	高 見 茂 雄	中 国	グローバルファイナンス学会に出席, 発表	14. 5. 26 14. 5. 29
	工学部	教 授	坂 上 岩 太	アメリカ合衆国	IEEE International Symposium on Circuit and System に出席, 発表	14. 5. 26 14. 5. 31
	工学部	教 授	熊 澤 英 博	中 国	水質浄化試験現場の視察と試験結果, 計画の討議	14. 5. 29 14. 6. 2

主 要 行 事

本 部

- 5月2日 組織運営体制の整備に関する検討委員会
7日 事務局連絡会
「国立大学地域交流ネットワーク」打合せ
(於：KKRホテル東京)
8日 地方公務員・警察官採用試験説明会
9日 名誉教授称号記授与式
再編・統合検討委員会
低温液化室運営委員会
10日 平成14年度富山大学初任者職員研修
11日～12日 平成14年度外国人留学生(学部新入生)合
宿研修
13日 平成15年度学内概算要求ヒアリング
14日 事務協議会
運営会議
新大学構想協議会(於：富山大学)
15日 機器分析センター運営委員会
16日 組織運営体制の整備に関する検討委員会
情報委員会
17日 部局長会議
評議会
再編統合検討委員会
東海・北陸・近畿地区学生指導研究会総会
(於：ルブラ王山(名古屋市))
20日 事務局連絡会
20日～21日 国立学校等経理部課長会議(於：東京医科
歯科大学)
21日 学生生活委員会
共済組合主管課長会議(於：東京医科歯科
大学)
22日 国立大学協会第3常置委員会(於：国立大
学協会)
12大学教養教育実施組織代表者会議・事務
協議会(於：ホテルアソシア静岡ターミナ
ル)
23日～24日 国立大学教養教育実施組織会議及び事務協
議会(於：新神戸オリエンタルホテル)
26日 名誉教授の会総会
27日 国立大学事務局長会議(於：学術総合セン

ター)

- 29日 新大学構想協議会(於：富山医科薬科大学)
教養教育運営協議会
就職委員会
事務局連絡会
30日～
6月2日 第47回大学祭
30日 国際交流委員会
31日 組織運営体制の整備に関する検討委員会
富山大学永年勤続者表彰式

人 文 学 部

- 5月1日 学部国際交流委員会
学部将来計画委員会
8日 人文科学研究科委員会
教授会
学部予算委員会
10日 学部総務委員会
15日 学部教務委員会
学部入学試験委員会
学部将来計画委員会
16日～17日 国立17大学人文系学部長会議(於：三重大
学)
22日 教授会
29日 学部予算委員会
学部情報処理委員会
30日 学部将来計画委員会

教 育 学 部

- 5月7日 学部拡大将来計画委員会
8日 学部教務委員会
学部入学試験委員会
研究科小委員会
研究科委員会
教授会
人事教授会
16日 平成14年度日本教育大学協会北陸地区評議

- 員会（於：上越教育大学）
 22日 紀要編集委員会
 学部拡大将来計画委員会
 附属小学校教育研究発表会
 29日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会研究推進委員会
 30日 附属幼稚園避難訓練
 30日～31日 平成14年度春季全国国立大学教育学部長会議（於：熊本大学）
 31日 平成14年度国立大学・学部附属学校管理運営等協議会（於：お茶の水女子大学）

- 8日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会教授会
 人事教授会
 大学院理工学研究科博士後期課程部会
 9日 古紙回収
 10日 学部施設委員会
 15日 学部自己点検評価委員会
 学科長会議
 実験廃液に関する安全講習会
 22日 大学院理工学研究科博士後期課程部会
 国立14大学理学部事務長会議（於：富山大学）
 22日～23日 国立14大学理学部長会議（於：富山大学）
 24日 出前講義（庄川・小矢部川地域地下水利用対策協議会）

経 済 学 部

- 5月1日 生涯学習・広報委員会
 7日 学部教務委員会
 研究科委員会小委員会
 学部学生生活委員会
 将来構想等検討委員会
 8日 学部国際交流委員会
 人事教授会
 研究科委員会
 教授会
 選挙管理委員会
 15日 人事基本問題検討委員会
 人事教授会
 教授会
 学部入学試験委員会
 生涯学習・広報委員会（持ち回り）
 22日 選挙管理委員会
 学部学生生活委員会
 学部入学試験委員会
 将来構想等検討委員会
 就職指導委員会
 28日 学部教務委員会
 29日 財務委員会
 30日 情報処理委員会

工 学 部

- 5月1日 学部教育業績評価検討会
 8日 教授会
 専任教授会
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 理工学研究科博士後期課程部会
 10日 学部運営委員会
 15日 大学院入試（博士前期課程）の推薦入試に関する検討委員会
 学部教育業績検討会
 20日 学部国際交流委員会
 学部学生生活委員会
 21日 学部教務委員会
 22日 教授会
 理工学研究科博士前期課程工学部会
 理工学研究科博士後期課程部会
 24日 学部施設整備委員会
 学部運営委員会
 27日 工学部案内編集委員会
 28日 学部教育業績評価検討会

理 学 部

- 5月1日 学部学生生活委員会
 7日 学部教務委員と理学部会教育委員の合同委員会
 学部教務委員会

附 属 図 書 館

- 5月17日 附属図書館運営委員会

地域共同研究センター

ベンチャービジネスラボラトリー

- 5月9日 運営委員会（持ち回り）
 17日 運営委員会（持ち回り）
 29日 交流振興会，理事会，総会，特別講演会
 （講師：新エネルギー・産業技術総合開発
 機構 理事 高橋 栄，演題：産学連携と
 地域振興に向けたNEDDの取組み）

5月1日 ベンチャービジネスラボラトリー幹事会

お 知 ら せ

懲戒処分指針における交通事故・交通法規違反関係の標準例の改正

平成14年5月28日付けで人事院から「懲戒処分の指針について」の一部改正通知が各府省等に発出されました。今回の改正は、近年、飲酒運転等の悪質・危険な運転行為に対する社会一般の見方がより厳しくなっていること、飲酒運転等に係る罰則等が強化されたことを踏まえ、これらの行為に対する懲戒処分がより一層厳正に行われるよう、懲戒処分の指針となる交通事故・交通法規違反関係の標準例が改正されたものです。

具体的には、飲酒運転及び飲酒運転での交通事故の標準例を酒酔い運転の場合と酒気帯び運転の場合に細分するとともに、それらの標準的な処分量定が下記のとおり改正前より重く設定されました。

主 な 改 正 内 容	
酒酔い運転で死亡又は重篤な傷害を負わせた職員	免職・停職 → 免職
酒酔い運転で傷害を負わせた職員	停職・減給 → 免職・停職
酒気帯び運転で死亡又は重篤な傷害を負わせた職員	免職・停職 → 免職・停職
酒気帯び運転で傷害を負わせた職員	停職・減給 → 免職・停職・減給
酒酔い運転をした職員	減給・戒告 → 免職・停職・減給
酒気帯び運転をした職員	減給・戒告 → 停職・減給・戒告

(注) この表は、任命権者の行う懲戒処分がより一層厳正に行われるよう、処分量定を決定するに当たっての指針として、人事院が平成12年3月に作成したもので、標準例として、懲戒処分の対象となりうる代表的な事例とそれぞれについての標準的な処分量定を掲げたものです。

今回の改正により、任命権者が飲酒運転等を行った職員に対してより一層厳正に対応することになりますので、各職員には飲酒運転の抑止及び飲酒運転等を原因とする重大事故の発生の防止に努めて頂くようお願いいたします。

詳細については、総務部人事課職員係（内線6019，3023）又は所属の総務担当係にお問い合わせください。また、人事院のホームページ（<http://www.jinji.go.jp/top.htm>）をご覧ください。

理学部事務室の移転

理学部2号館校舎改修工事終了に伴い、事務室が下記の場所に移転しました。(移転年月日：平成14年6月3日)

人文学部・理学部総務第二係（事務長補佐，専門職員同室） 理学部2号館 1階 B111号室

” 教務第二係 理学部2号館 1階 B113号室

← 附属図書館

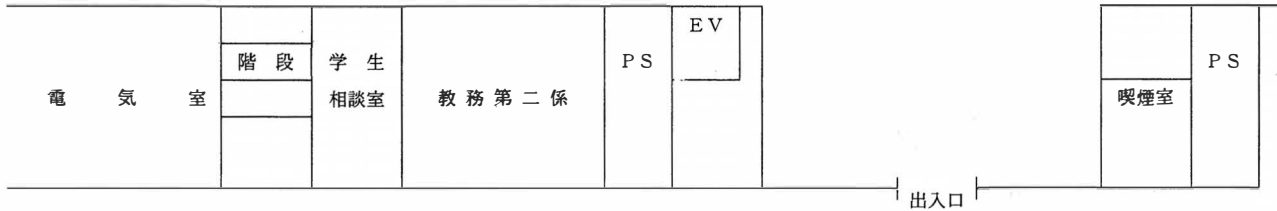
メインストリート

正門 →



(1階)

1号館へ→



《訂正》

I. 第447号71ページの資料「平成14年度富山大学入学者選抜試験実施状況総括表」に下記のとおり誤りがありました。

◎平成14年度富山大学入学者選抜試験実施状況総括表

【誤】

学 部	学科（課程）等		募集人員			志願者数		受験者数	
			a (人)	b (人)	(b/a倍)	c (人)	(c/a倍)		
経済学部	昼間主 コース	経済学科	135	628	(4.7)	436	(3.2)		
		経営学科	115	482	(4.2)	374	(3.3)		
		経営法学科	95	629	(6.6)	428	(4.5)		
		小計	345	1,739	(5.0)	1,238	(3.6)		
	夜間主 コース	経済学科	20	187	(9.4)	120	(6.0)		
		経営学科	20	106	(5.3)	79	(4.0)		
		経営法学科	20	112	(5.6)	76	(3.8)		
		小計	60	405	(6.8)	275	(4.6)		
	計		405	2,144	(5.3)	1,513	(3.7)		

【正】

学 部	学科（課程）等		募集人員			志願者数		受験者数	
			a (人)	b (人)	(b/a倍)	c (人)	(c/a倍)		
経済学部	昼間主 コース	経済学科	135	628	(4.7)	437	(3.2)		
		経営学科	115	481	(4.2)	372	(3.2)		
		経営法学科	95	630	(6.6)	429	(4.5)		
		小計	345	1,739	(5.0)	1,238	(3.6)		
	夜間主 コース	経済学科	20	188	(9.4)	121	(6.1)		
		経営学科	20	105	(5.3)	78	(3.9)		
		経営法学科	20	112	(5.6)	76	(3.8)		
		小計	60	405	(6.8)	275	(4.6)		
	計		405	2,144	(5.3)	1,513	(3.7)		

II. 第447号74ページからの資料「平成13年度大学院研究科修了者一覧」に脱漏がありました。

平成13年度大学院研究科修了者一覧

【理工学研究科（博士前期課程）】

専攻	氏名	論文題目
電子情報工学専攻	板尾隆昭	ビデオカメラを用いた雷放電分光計測システムの開発
	岩田至弘	マイクロ波帯90度および180度分布定数ハイブリットの集中定数化に関する研究
	小山周一	Kronig-Penny模型における固体表面電子状態の理論

III. 第448号23ページの清水健次 教育学部附属中学校長の略歴紹介に脱漏がありました。

誤	正
附属中学校長に再任された清水教授は、昭和45年3月富山大学文理学部を卒業、同48年3月大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程を修了、同51年3月同博士課程を修了後、同年4月日本学術振興会富山大学講師に採用され、54年4月同助教授、平成3年4月同教授となり、現在に至っています。	附属中学校長に再任された清水教授は、昭和45年3月富山大学文理学部を卒業、同48年3月大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程を修了、同51年3月同博士課程を修了後、同年4月日本学術振興会研究員を経て、同52年4月富山大学講師に採用され、同54年4月同助教授、平成3年4月同教授となり、現在に至っています。

お詫びして訂正します。



△第47回富山大学祭から

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
 印刷所 あけぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899